

発注企業動向調査結果

-2025.3-

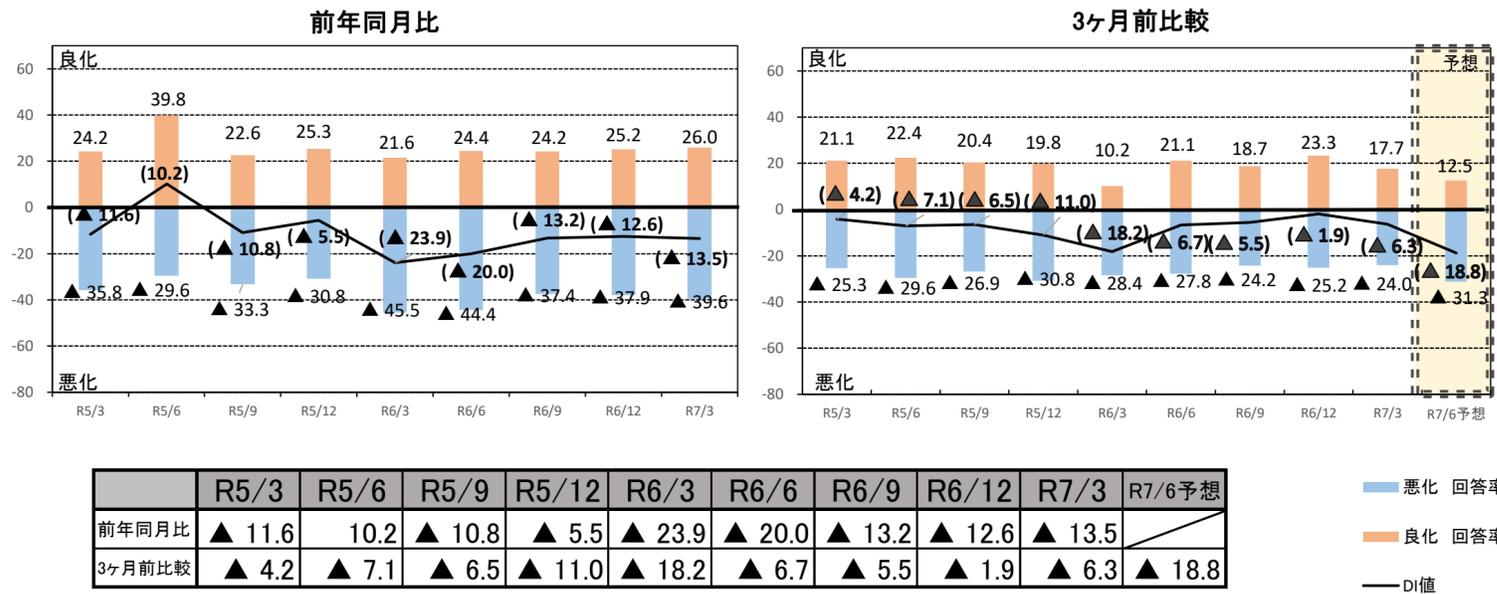
- 調査時点 令和7年3月調査(令和7年3月末時点)
- 対象企業 150社
- 調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)
- 回答企業 96社(回答率:64.00%)

<業種内訳>

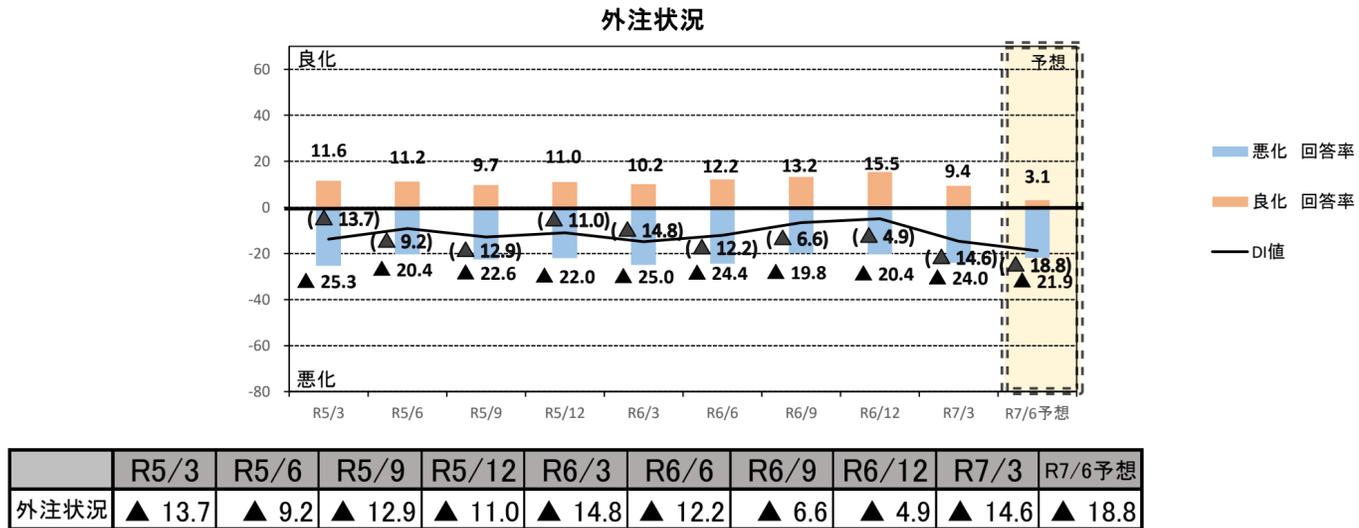
プラスチック	10社
鉄鋼・非鉄	12社
金属製品	9社
一般機械器具	16社
電気機器	26社
輸送用機器	16社
精密機器	3社
縫製	4社
計	96社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。

●生産高



●外注状況



●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)のDIは▲13.5で、前回の▲12.6から0.9ポイント減となった。
- ・生産高(3ヶ月前比較)のDIは▲6.3で、前回の▲1.9から4.4ポイント減となった。
- ・外注状況(3ヶ月前比較)は▲14.6で、前回の▲4.9から9.7ポイント減となった。
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が▲18.8、外注状況が▲18.8という予想になった。
- ・その他自由意見として、

【鉄鋼・非鉄金属製造業】

・2024年度は良かったが、2025年は先が良く見えない状況である。(米国による影響次第)

【電気機械器具】

・人手不足である。

・2025年4月から2026年度にかけて生産量が増加する見込み。2026年度増加に向け段取りしている。

・一部の顧客からの受注増加の兆しが見られるものの、全体的には依然として低空飛行の状況が続いている。

・全体的に低下している。特に車関係が不安定である。

・①2025年度は全体的に受注減、②2025年度海外向け案件が激減、③車載関係・遊戯関係が2025年特に厳しい、④通信関係が一般的に厳しい

・在庫調整や関税問題により顧客各社が様子見になっている。年内はこのような状況が続くと思われる。

【輸送用機械器具】

・現状水準で推移している。

という意見が寄せられた。